

科目名	宗教と人間（親鸞と現代） F					単位	2.0
担当教員	小島 恵昭						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	4208

●授業のテーマ

福祉社会実現のために、同朋和敬を学ぶ。

●到達目標

履修者は偶然の縁で本学に入学し、また偶然の縁でこの科目を学ぶことになったのである。建学の理念を学び、自己中心的な生き方を反省し、他者とともに生きていることを理解する。

●学習内容(授業概要)

本学の建学の精神「同朋和敬」は直接には親鸞思想によるが、元来は釈尊の平等思想によることである。現代社会では自己の権利の主張によってさまざまな事件が起きている。自己の権利を主張することは他者の権利を奪うことである。仏教思想では対立して報復することを否定し、他者を受容する。現代の福祉の理念は「自立」と「共生」といわれている。すなわち他者を受容しなければ福祉社会が実現しないのである。この講義では宗教に触れる初心者のためできるだけ易しく親鸞の思想とその受容について講義する。

●学習内容(授業計画)

1. 序論—他人を見下す若者たち
2. 同朋和敬(1)—同朋大学の歴史
3. 同朋和敬(2)—同朋大学で学ぶ意義
4. 親鸞の時代—争いと飢えの時代
5. 親鸞の生涯(1)—吉水入室
6. 親鸞の生涯(2)—越後流罪
7. 親鸞の生涯(3)—寛喜の大飢饉
8. 親鸞の生涯(4)—いしかわらつづてのごとくなるわれら
9. 親鸞の生涯(5)—世の中安穩なれ仏法ひろまれ
10. 親鸞の生涯(6)—信心の定まるとき往生また定まる
11. 親鸞の生涯(7)—善鸞義絶
12. 親鸞の受容(1)—一向一揆の理念
13. 親鸞の受容(2)—報恩行としての勤勉
14. 親鸞の受容(3)—いのちの尊厳
15. 結論

●準備学習・事後学習の内容

毎回資料を配布しますので、予め下調べをすること。事後学習として毎回授業のまとめと感想を書いてください。

●成績評価方法・基準

授業のまとめと感想 30%。授業時配付資料・自筆ノート持込み可の筆記試験 70%

●テキスト（必携）

●参考文献／その他

同朋大学仏教文化研究所編『誰も書かなかった親鸞 [伝絵の真実]』

●履修上の注意

私学は建学の精神に基づいて教育実践されているので、本学では「同朋和敬」の精神を体得せずでは、本学で学修する意義は喪失する。したがってこの授業科目を真摯な態度で受講する必要があるので、私語は厳禁である。